

## 株式会社アキュラホーム 長期優良住宅先導的モデル事業に採択 出来高入金制度の導入や工務店連携による相互補完体制で倒産リスクに対応

株式会社アキュラホーム（ジャブネット事務局）（社長：宮沢俊哉 東京都新宿区）は、国土交通省が実施する平成 21 年度第 1 回「長期優良住宅先導的モデル事業」住宅の新築戸建て住宅の提案、維持管理流通強化部門において「工務店連携型長期優良住宅・総合安定供給システム」が採択されました。

「工務店連携型長期優良住宅・総合安定供給システム」は全国規模のスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つ工務店ネットワーク「ジャブネット」を活用した提案です。ジャブネットは 2004 年に経済産業省の次世代省エネ住宅普及促進事業研究会の研究成果を受け、可変性を備えた次世代省エネルギー住宅「はるの Si」を販売。2007 年には自民党住宅土地調査会の 200 年住宅ビジョンを受け、自由設計で、長期優良住宅の認定要件を高水準でクリアした住宅をいち早く開発し、昨年春より誰もが求めやすい長期優良住宅を目指した住宅「住み継ぐ家・めぐる」を全国で販売し実践を積み重ねてまいりました。

### 「工務店連携型長期優良住宅・総合安定供給システム」

『工務店連携型』の本提案に参加するジャブネット会員工務店は住宅建築における業務フォーマットを共通としています。その強みを活かし、情報や技術をそれに乗せて提供し、扱いやすい形で細部まで確実に施工できる体制を構築。第三者機関の検査情報に基づく『出来高入金制』を導入するとともに『相互補完体制』によって工務店の倒産など不測の事態に対応します。また、『修繕費積立保険制度』を創設し、維持管理面での住まい手の資力確保に寄与します。

これらの運営のためにサポートセンターを設立し、各種申請事務、工事履歴のデジタル保管などのバックアップや資産価値維持、住宅への愛着を育むアイデアの実施を推進します。この活動で得られた成果は、一般工務店へ提供する機会を作り循環型社会に向けた貢献となるよう積極的に取り組んでいきます。

提案概要は以下 3 点です。

共通業務フォーマットの利用、普及価格帯での長期優良住宅の建設・普及、相互補完ネットワークにより長期優良住宅を确实・安定供給するシステムを構築。

SI 設計・施工システムや普遍的デザインの推進、住まいに愛着をもつ「しあわせデザイン」の推進により資産価値の高い住宅を供給。

修繕費用積立保険制度の創設、サポートセンターによるワンストップサービスなどによる維持管理を促進させ流通強化を図るシステムを構築。

地域住宅供給の主役である工務店に扱いやすい施工基準や要件、仕様、コンセプト、価格などで確実に伝達し工務店の取り扱い意欲を喚起。さらに、全国組織の強みを活かしたイベント等による周知・普及活動を行います。

#### < 本提案に対する概評 >

全国工務店による連携型の施工体制に加え、住宅維持管理において、計画修繕資金を一定期間取り崩さない方策として金融機関（保険）と連携した返戻型の積立保険制度を設ける提案は、修繕費用の計画的確保を確かなものとする提案であり、先導的であると評価されました。

---

#### < 本件について報道関係からのお問い合わせ先 >

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越

Email : horikosi@aqura.co.jp TEL : 090-7843-6574 FAX : 03-5909-5560

住所：東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F

ホームページ：<http://www.aqura.co.jp>

### 長期優良住宅

「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が平成21年6月4日に施行され、長期優良住宅の建築および維持保全に関する計画を認定する制度が創設される。住宅を長期にわたり使用することにより、住宅の解体や除去に伴う廃棄物の排出を抑制し、環境への負荷を低減するとともに、建て替えに係る費用の削減によって国民の住宅に対する負担を軽減し、より豊かで、より優しい暮らしへの転換を図ることを目的としている。

### 長期優良住宅先導的モデル事業

「いいものをつくってきちんと手入れして長く大切に使う」というストック社会のあり方について、具体的内容をモデルの形で広く国民に提示し、技術の進展に資するとともに普及啓発を図ることを目的としている。この観点から、住宅の長寿命化に向けたモデル事業の提案を、国が公募によって募り、優れた提案に対して、予算の範囲内において、事業の実施に要する費用の一部を補助するもの。

## アキュラホーム

### 「日本の住まいを安くする」

をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダー。住宅建築合理化システム「アキュラシステム」を開発し、高品質でありながら坪30万円以下で建築可能な注文住宅を提供している。



また、創業以来30年にわたり、日本の住宅価格の適正化に努め、



「住宅建設コスト低減コンペ」における建設大臣表彰、さらに東京都が進める東村山市本町地区プロジェクト「価格引き下げ実証実験」では圧倒的な低価格提案をもってプロジェクト事業者4社の内1社に選定され、全7期申込み倍率1位を記録した。

### 日本最大のネットワーク・工務店支援

全国の地域ビルダー・工務店500社によるネットワーク「JAHBnet(ジャープネット)」を主宰。そのスケールメリットを活用し、高品質・低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入している。こうした活動は、多方面から注目され、経済産業省における「次世代省エネ住宅普及ビジネスモデル」の参考とされた。2005年には自らのIT活用に加え、住宅建設業界でのIT活用の普及に貢献があったということで「経済産業大臣表彰」を受章。

### 暮らしをデザインする

2005年「匠階段(スケルトン)」、2006年「ガラスウォール」、2008「オブティス・サステナブル」がグッドデザイン賞を受賞。



2007年には「ガラスウォール」が新日本様式に選定される。さらに、自由設計でありながら、一棟一棟の住まいが美しくデザインできる「デザインコード(原則)」を開発するなどアキュラホームはデザイン開発を進めている。



### 高品質な価値ある家作り

公開実大耐震実験で過去最大級の地震波を連続3回再現し、震度7クラスの激震を受けたにも関わらず、構造体に異常や損傷なく、極めて高い耐震性能が実証された。また、住宅性能表示制度、7項目で最高等級に対応する高品質な家作りを行っている。



### ジャープネット(JAHBnet)



ジャープネットは全国500社の工務店・ビルダーが加盟する工務店ネットワーク組織。アキュラホームが94年に独自の住宅建築合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を開発。これまでに2500社以上の全国の工務店に導入されると共に、98年に(財)日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」(現ジャープネット)を設立した。安全・安心の住宅「新生代ハウス」を供給している。ジャープネットは全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとしてすでに10年にわたり全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供。2008年3月にはジャープネット販売累計が60,000棟を超えた。

### <アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F
電話	03-6302-5001(代)
創業	1978(昭和53)年10月
資本金	9,314万円
従業員数	756名(09年4月1日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売、 住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	278.33億円(09年2月期)
ホームページ	<a href="http://www.aqura.co.jp">http://www.aqura.co.jp</a>